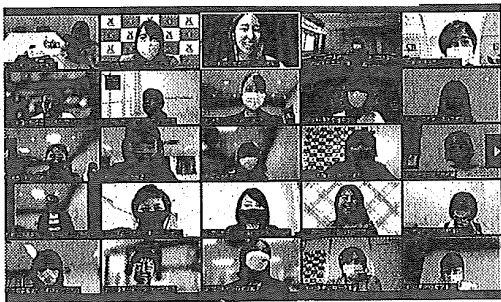


「壁を越える」テーマに

建コン協 九州女性技術者交流会



建設コンサルタツツ協会(建コン協)九州支部の女性技術者委員会(笠瀬明日香委員長)は8日、「私のワークライフバランス」「壁を越える」をテーマに第5回女性技術者交流会を開いた。写真。九州地方整備局の柄沢祐子遠賀川河川事務所長が妊娠を機に仕事と子育ての両立に悩んだ体験談を披露。意見交換では仕事やプライベートで

の壁を乗り越えるためには周囲の手助けや自分がやりたいことを伝えることが必要などとする意見が出た。

ウェブ会議システムを利用し65人が参加。会の冒頭、笠瀬委員長は「次のステップに進むためには乗り越えなければならぬ壁が人それぞれ出てくる。それを乗り越えるためのちょっとした勇気、一歩踏み出す勇気につながるような気付きをぜひ持ち帰っていただきたい」と述べた。

九州整備局初の女性事務所長を務める柄沢氏は、育児をしながらやりがいがある仕事をするため、実家から通える遠賀川河川事務所の新長になることを中期のキャリア目標に設定し、そのために必要な業務を経験し人事担当者と同事務所での勤務希望を何度も伝えてきたと明かした。その上で自分がやりたいことを伝

えるためにも「頑張っている姿を見てもらうのも大事な」と話した。

家庭などの制約が原因で希望する仕事に就けないような職場は立ちゆかなくなるとし「少しずつでも組織が変わらないといけない」と指摘した。

6グループに分かれて行った意見交換では年齢と充実度を示した参加者のライフグラフを基に「自身が直面した壁」について話し合った。グループ発表では直面した壁として女性が少ない職場であることや育児休暇からの復帰、育児と仕事の両立、結婚相手の転勤、コロナ禍でコミュニケーションが取りづらいことなどが挙げられた。

壁を乗り越えるための方策としては「割り切る」「周囲の手助け」「キャリア形成を自分で考え会社や上司に伝える」「自分がロールモデルとなるという強い気持ちを持つ」「働き続けられるように制度を作ってもらおう」などの意見が出た。